

2024年度 すくわくプログラム実践記録

園名：おうち保育園あさがや

保育理念

わたしたち保育園は、みんなの未来をつくることに
自ら参加し、貢献し、そして楽しむ心を育みます。

保育目標



共感性

自分の気持ちを大切に
他者の気持ちも大切にする
こども



内発性

自らの内なる声聴き
主体的に動くこども



創造性

自由に考え
創造するこども

シチズンシップ保育5つの基本



1,活動のテーマ

<テーマ(こどもたちの興味・関心を深める)>

自然物から広がる

<テーマの設定理由(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)>

- ・ こどもたちがどんぐりや落ち葉等、自然物に興味を持ってそれを遊びに取り入れている姿がある。
- ・ 園の近隣に大きな公園もあり、そこで自然物に触れる機会をもつことができている。
- ・ 自然物を持ち帰り観察したり、図鑑をみて楽しむ姿もある。

2,活動スケジュール

10月～12月：公園でどんぐり探し
→拾ったどんぐりを遊びに取り入れてみる

12月～2月：氷、霜柱に触れる
落ち葉の感触を楽しむ
氷作りを試してみる

【実践記録】

日付	2024/10/23
「問い」	・ どんぐりをつかって遊んでみよう
環境のデザイン	・ どんぐり拾いをする
探究活動	どんぐりがたくさん落ちている箇所に拾い集めに行く。 拾ったどんぐりを見せあい大きさくらべをしたり、料理づくりをしてどんぐりを飾り付けに使ったり、どんぐりの皮を剥いて中身を確認してみたりして楽しんでいた。大きさ比べでは「こっちのほうが細いね！」等、形の違いに気づいていた。
活動の様子	 
振り返り	・ どんぐりを拾い集めるだけでなく各々好きな遊びに取り入れている姿があった。 ・ 形の違いやどんぐりにも種類があることに気づいている姿があった。 ・ 中身がどんなものなのか確認してみて皮の部分と色が違うことに驚いていたり、それぞれの発見があるようだった。

日付	2024/11/12
「問い」	<ul style="list-style-type: none"> ・この木の実はなんだろう？図鑑で調べてみよう
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の図鑑
探究活動	<p>散歩に出かけた際、赤い木の実がたくさんあることに気がついた。「これはなんだろう？」と、植物に詳しいスタッフが「ナンテンだね」と話す。また別の場所でも赤い実を見つける。今度は先程と少し大きさが違う。「これはなんだろう？」と夢中で見ているこどもたち。2歳児の子が「帰ったら図鑑でみたらいいね！」「赤い実載ってたよ」と言ったことをきっかけに帰園したら図鑑で調べてみようということになった。他の木のみにも興味を広げるきっかけとなった。</p>
活動の様子	
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・赤い実もいろいろな種類があることに気がついたこどもたち。なんという名前なのか、どんな違いがあるのか図鑑で調べて楽しむことができていた。 ・次に散歩に出かけた際も「これはナンテンかな？」とじっくり観察して違いを見つけることを楽しんでいた。 ・保育者の知識でこれは〇〇だよと伝えることは簡単だが、自分たちで図鑑でみてみることで新たな発見があったり、こどもたちなりの気づきがたくさんあってよかった。

日付	2024/12/19
「問い」	・ 芝生ってどんな感触？
環境のデザイン	・ 芝生のある公園で遊ぶ
探究活動	<p>天気の良い日に公園の芝生広場に遊びに行く。追いかっこをして楽しんでいた子が転倒した際、「痛くない。芝生ふかふかだった」と言っているのをきいて、他児も寝転がり始める。「ふかふか」「あったかいね」と感じたことを言葉にしていた。</p> <p>衣服に芝生がくっついたことにも気が付き、「芝生のお洋服！」と友だちや保育者にみせてまわっていた。「ツルツルのところはつかない」と気づいている子もいた。</p>
活動の様子 (写真・映像)	 <p>The image contains two side-by-side photographs. The left photo shows three children lying on their backs on a grassy field, with one child in the center and two others on either side. The right photo shows a group of children lying on their backs on a grassy field, with an adult standing nearby. The background shows a park setting with trees and a building.</p>
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人の子が感じたことを言葉にしたことで、他の子どもたちもやってみようと活動が広がっていた。 ・ 寝転がることで、あたたかさを感じたり、衣服の素材によっては芝生がついたりつかなかったりすることに気づいている子もいた。

日付	2025/1/9
「問い」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者から霜柱があるよとこどもたちへ気づきを伝える。
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日陰に霜柱があるか探してみる。
探究活動	<p>公園の広場の日陰で霜柱があることに気が付き、保育者がこどもに「霜柱があるよ」と伝えると、興味を持って近づいてくる。「これはなに？」とおそるおそる触ってみる。「霜柱っていうこおりだよ」と伝えると「すごい！冷たいね」「とけちゃった」と触れてみた気づきを次々に言葉にしていた。</p> <p>手だけでなく踏んで感触を確かめている子もいた。「ざくざくって言う」「おもしろい」と霜柱を見つけては感触を楽しんでいた。</p> <p>「土の中に何で氷ができたのかな？」と話す子も見られていた。とけたあと土がドロドロになる感触も楽しんでいた。</p>
活動の様子 (写真・映像)	
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 偶然霜柱を見つけ触れてみる機会をもつことができた。 ・ こどもたちからどうして氷が土のところにできるのかという疑問もでていた。一緒に考えていくきっかけにしていきたい。 ・ 寒い冬ならではの自然物にも興味をもっている。また、こどもたちと霜柱探しを楽しめる機会を作っていきたい。

日付	2025/1/11
「問い」	・ 氷を触ってみよう
環境のデザイン	・ 自然にある氷を探しに行く
探究活動	<p>公園のじゃぶじゃぶ池のところを散策していると、岩と岩の間に水が溜まっており、そこに氷が張っているのをみつけた。まずは指先で触ってみる。手に取ってみようとするが、氷がとれず蹴って割ってみることに。「氷って何で割れるんだろうね。」「小さいのがたくさんできた」と手にとって楽しんでいた。「お水が寒い～って固まったら氷になるの?」と、疑問に思ったことを保育者に聞いていた。手に小さいものをもっていると手の熱で小さくなってきて「あれ?小さくなっちゃった! 悲しい～」と溶けることを知ったようだった。</p> <p>後日公園に遊びに行った際、水がたまっているところをみるとその日は凍っておらず、なんでだろうね?と不思議そうにしていた。</p>
活動の様子 (写真・映像)	
振り返り	<p>・ 氷がなぜできるのか、なんでとけてしまうのか子どもたちも実際に観察したり、手に取ったりしながら知っていく姿があった。</p> <p>・ 後日、同じ公園に氷があるかさがしに行くが、その日は気温が高めで凍っておらず「今日はお水のままだった」と凍る日と凍らない日があることへの気付きにつながっていた。</p>

日付	2025/2/14
「問い」	・ 枯れ芝生ってなんでくつつくの？
環境のデザイン	・ 芝生広場に遊びに行く
探究活動	<p>・ 芝生が枯れたものが公園の丘の下にあることに気がついた。触って楽しむ中で「おにはそと～」と紙吹雪のように散らして楽しんでいた。保育者がぎゅっと枯れ芝生を集めて握ってみるとくつついてまとまることに気がついた。「みて！くつついた」とまとめたものをみせるとこどもたちも真似をしてやってみる。「なんでくつつくんだろう？」「ぎゅーって芝生が手繋いでるんじゃない？」と感じたことを言葉にしていた。</p> <p>まとめたもので雪だるまをつくってみたり、料理をつくったり、見立て遊びに取り入れて楽しむ姿があった。</p>
活動の様子	
振り返り	<p>・ 枯れた芝生たちがどうしてくつついてまとまるのか不思議そうにしていた。「手を繋いでいるから」とこどもたちなりに考えたことを伝え合っていた。</p> <p>・ ぎゅっと丸めた芝生を身近なものに見立てて、遊びに取り入れて楽しむことができていた。</p>

日付	2025/3/10
「問い」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木の皮の下にはなにがある？
環境のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 散歩先は自然豊かな公園を選ぶ。 ・ 散策を楽しめる時間を設ける。
探究活動	<p>公園の茂みのところで遊んでいると、木の皮がめくれている箇所があった。中を興味津々に覗き込んでいたこどもたち。「なにがあるのかな？」「虫がねてるのかな？」と興味を持って少し引っ張ってみるとぺろっとめくれる箇所があった。中にはてんとう虫がおり「木のお布団でねてたね」と皮を元通りにかけてあげていた。</p>
活動の様子	
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木の下にはなにがあるのかというこどもたちの疑問を実際に少し剥がれている箇所をのぞいて、みて確認することができた。 ・ めくった先になにがあるのか新たな発見につながっていた。